

モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2002年4月16日

全州に亘り気温が上昇し、各地で降水を記録した。過去1週間の農作業の可能日は3.4日であった。平年より生育状況は遅れているが、気温が上昇したことより、冬小麦が休眠から覚め出した。全州の凡そ34%が休眠中である。そして8%の圃場の冬小麦が生育を始めている。同時期5年平均では13%が休眠の状態であり、43%が生育を開始している。春小麦の播種が開始された。2002年産冬小麦の作付面積は、140万エーカー（2001年産130万エーカー、8%増加）となっており、春小麦の作付け面積予想は350万エーカー（2001年産355万エーカー）と発表されている。2002年産デュラム小麦の作付け9.5万エーカーと予想され、2001年産（8.5万エーカー）に対し4%の増加の見込みである。

2002年4月14日現在

土壌水分：

Topsoil

	This week	Last week	Last week	5-yr. Ave.
Very short (%)	31	26	12	10
Short (%)	31	39	31	30
Adequate (%)	36	33	51	56
Surplus (%)	2	2	6	4

Subsoil

Very short (%)	50	50	39	20
Short (%)	35	35	32	36
Adequate (%)	15	15	26	41
Surplus (%)	0	0	3	3

小麦作柄：

Winter wheat	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week (%)	28	32	30	9	1
Last week (%)	31	32	29	7	1
Last year (%)	3	12	56	25	4
5-yr. Ave. (%)	2	8	39	45	6

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Winter wheat Dormant (%)	34	87	22	13
Winter wheat Green (%)	58	13	65	44
Winter wheat Growing (%)	8	0	13	43
Spring wheat Seeded (%)	1	0	4	7

Source: Montana agricultural Statistics Service